

東京外国為替市場委員会 第 256 回会合 議事録

開催日時 2022 年 11 月 18 日
場 所 日本銀行本店
議 長 井上 吉康
副 議 長 大澤 孝元
副 議 長 金戸 正登
書 記 清水 祐希
出 席 者 26 名

I. 委員退任の件

大木委員より退任の意思が示され、了承されました。

II. 委員立候補の件

山崎氏から委員に立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

III. 副議長・委員再任の件

任期満了を迎える大澤副議長から、副議長に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。同様に、任期満了を迎える高山委員、宗川委員、十時委員から、委員に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

IV. GCoC再遵守に向けたフォローアップについて

金戸副議長より、東京市場における改定版コードの再遵守状況及び再遵守未了先のステータスについて情報の更新がなされたほか、前月上旬時点で再遵守予定時期や再遵守予定自体が未定の先に、議長・副議長の 3 名で再遵守に向けたアプローチを別途行った結果、来年初には再遵守率が 9 割超となる予定である旨、報告されました。

V. GFXCの動き、作業計画、Proportionality WGについて

中野準委員より、Proportionality WG において現在取り組んでいるオンラインのWEBアンケートツールを、予定通り投信協会の協力のもとアセットマネジメント会社の方々に展開した結果、11月中旬の締切時点において45社からフィードバックを得ることができた旨（海外では計40社）、報告されました。今後は、12月に予定されているGFXC会合で当該ツールを完成・配布できるよう、各国から得られたフィードバックを基にWG内で最終調整を進めていく旨も報告されました。

清水書記より、10月後半に来日した海外中央銀行関係者との間で、**東京市場委の活動状況や抱えている課題について意見交換を実施したほか、GFXCが掲げるアジェンダの重要点について議論を行った旨**、報告されました。

VI. 市場調査小委員会取引高サーベイ時期延長について

石橋委員より、2022年10月実施分の取引高サーベイの公表時期を、例年対比 1 カ月程度延期させる旨提案があり、全会一致で了承されました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (11月18日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○井上 吉康	(三菱UFJ銀行)
副議長・Eコマース小委員長	○大澤 孝元	(バークレイズ銀行)
副議長・Code Of Conduct小委員長	○金戸 正登	(みずほ銀行)
書記	○清水 祐希	(日本銀行)
運営小委員長	○山本 崇	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBSデイトリングリサーチジャパン)
法律・コンプライアンス小委員長	○井上 達人	(三井住友信託銀行)
教育小委員長	○高山 典大	(野村証券)
市場調査・バイサイド小委員長	○石橋 優	(三井住友銀行)
	○星野 昭	(シティグループ証券)
	○林 大樹	(JPモルガン・チェース銀行)
	○十時 潤一郎	(上田東短フォレックス)
	○宗川 雄視	(リフィニティブ・ジャパン)
	○加藤 明	(CLS)
	○好川 弘一	(NAB証券)
	○大熊 貴之	(野村アセットマネジメント)
	○桑野 貴	(ゴールドマン・サックス証券)
	○井上 裕嗣	(BNPパリバ銀行)
	○福田 京子	(オーストラリア・ニューズ・ラント銀行)
	○山崎 照永	(EBSデイトリングリサーチジャパン)

<準委員>

	○星 義浩	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○小柳 徳明	(三菱UFJ銀行)
	○田中 潤平	(みずほ銀行)
	○中野 琴音	(バークレイズ銀行)
	○内山 祐樹	(三井住友銀行)
	○張 恭輔	(日本銀行)

<オブザーバー>

	安田 怜央	(財務省)
--	-------	-------

(注) 敬称略(順不同)。○は今回出席。